

「けいはんな学研都市～京都駅」直通バス実証運行期間の延長について

■これまでの取組

	前回	現在	
	平成 28 年 3 月 22 日 ～平成 28 年 9 月 30 日	平成 28 年 10 月 1 日 ～平成 29 年 3 月 17 日	平成 29 年 3 月 18 日 ～平成 29 年 9 月 30 日
便数	8便(朝・夕各4便) ※平日のみ運行	同左 ※ただし、学研都市住民が 京都方面への買物・観光 等で利用しやすい時間帯 を、朝・夕に新たに設定	
ルート	学研都市⇔大住工業団地⇔京都駅 (高速道利用区間) 上烏羽⇔八幡東、田辺北⇔精華学研	同左 ※ただし、学研都市住民が 利用しやすい乗降場所 (木津川台地区)を、新た に設定	
運賃	700円(学研都市⇔京都駅)、500円(大住工業団地⇔京都駅)		
乗客数	15.1人/便 (学研都市→京都駅)6.7人/便 (京都駅→学研都市)23.4人/便	14.8人/便 (学研都市→京都駅)6.5人/便 (京都駅→学研都市)23.0人/便	

■現実証運行の現状・課題

○定時性、速達性の恩恵を受けていない。

⇒新名神高速道路(城陽・八幡京田辺間)の開通区間を利用していない。

○将来性と採算性のバランスが判断できない。

⇒来春、大手事業所が開設される。

⇒平均乗客数、15人/便。採算性を確保するためには、30人/便が必要

将来性と採算性を見極めるためには、ルート変更等による新たな実証運行が必要

■今後の進め方

「けいはんな学研都市～京都駅」直通バス本格運行に向けての検討協議会(平成 29 年 6 月 14 日開催)にて、「けいはんな学研都市～京都駅」直通バス実証運行継続の方向性が示されたため、バス事業者と近畿運輸局が直通バス実証運行継続を前提に協議をしているところ。

今後、バス事業者が近畿運輸局に直通バス実証運行継続を申請予定

- ・新名神高速道路(城陽・八幡京田辺間)を利用
- ・現実証運行期間から、1年間、延長
- ・運賃は、据え置き